

事業報告書

【将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成】

助成事業細目		タレント発掘・一貫指導育成事業			
助成事業者名		公益財団法人 日本卓球協会			
事業名		男子・女子ホープス・カブ選手＋指導者研修合宿			
事業実施期間		令和 3 年 2 月 19 日 ～		令和 3 年 3 月 14 日	
		(延べ 9 日間)			
事業の成果		この研修合宿の特色は選手と指導者がセットで参加するところにある。選手と指導者の意識改革を促すことが、将来的にナショナルクラスに成長する選手の絶対数を増やすことに繋がっていくと考えている。この研修合宿は、当初男女（2ブロック）で予定しておりましたが、コロナの関係から移動距離を少なくするために男女を分けて3カ所にて実施を行った。10才～12才までの選手を参加させ、早期教育の側面を併せ持っている。技術的には世界に通じる初期設定。その他メンタル・栄養等に関する意識付け。また、JOCプログラムを男女講習に取り入れた。			
事業に対する評価		概ね計画通りに実施することができた。メンタル、栄養、フィジカル、技術を予定通り実施することができた。スポーツ障害、歯磨き講習はオンラインでの講習となったが、Wi-Fi環境とスクリーン、プロジェクターの準備がしっかり準備できていれば、今後もオンライン講習は実施できる内容であると感じた。コロナの関係も及び歯磨き講習を取り入れ幼少期に歯磨きが必要な内容や、オンライン講習に特に、近年は幼少期からプレーを始める傾向が高く、比例してスポーツ障害の発生が増えてきていることが医科学委員会からも寄せられている。講義では、指導者に対する障害への認識を中心に有意義な内容で行われた。その他、トレーニング講習（実践）やJOCプログラムについて好評であった。			
事業計画及び実績				年度当初計画	実績
		延べ参加者数		146 人	144 人
		活動日数		9 日	9 日
		各年代の代表選手輩出数		10 人	5 人
事業の実施方法	第三者への委任（事務委任等）の有無		☒ 有 ☐ 無	※第三者への委任（事務委任等）が「有」の場合、以下に記入するとともに、委任先の収支決算書を提出すること	
	委任先の組織名称		株式会社 J T B		
	委任の内容		宿泊、旅費の調整及び交通費の払い戻し等		
実施した事業の内容		【事業の詳細】※当初開催予定の人数 実施場所日時： 大分研修：2/19-2/21 杵築市文化体育館 選手21名、指導者35名 新潟研修：3/ 5-3/ 7 新発田市カルチャーセンター 選手22名、指導者31名 山形研修：3/12-3/14 天童市スポーツセンター総合体育館 選手13名、指導者24名 「総計」146名 研修内容： ①技術指導、基本技術の徹底ブレースタイルを指導 ②フィジカルトレーニング…発育に合わせた指導 ③コンディショニング指導…栄養指導・メンタル指導 ④コーチングの指導…指導者に対してアドバイス ⑤体カテスト ⑥スポーツ障害…怪我や故障の予防（オンライン） ⑦歯磨き講習…歯磨きの仕方など（オンライン）			
情報公開	事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開	情報の公開方法（複数選択可）	☒ HPで公開 ☐ 広報誌・会報誌等で公開 ☐ 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 ☐ 情報開示請求があった場合に開示 ☐ その他 （ ） ※具体的な公開手段を記載してください。 ※上記いずれかの公開が必要です。		
		公表した内容（複数選択可）	☒ 事業の実施状況（助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開） ☐ 事業の実施結果（助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開） ☐ 助成金の使途に関する情報（助成金額（交付決定額）及び何に使用したのかを公開） ※上記いずれかの公表が必要です。		
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか		☒ 行った ☐ 行わなかった	実施方法	アンケート	
備考					